宅地の災害事例

宮城県沖地震（1978年6月12日）

仙台市などの住宅団地において、盛土地盤の変状や、**石積み擁壁**（→P.７参照）の倒壊、ライフラインの被害などが見られ、宅地造成地が抱える災害に対しての問題が浮き彫りにされました。

玉石積み擁壁の倒壊

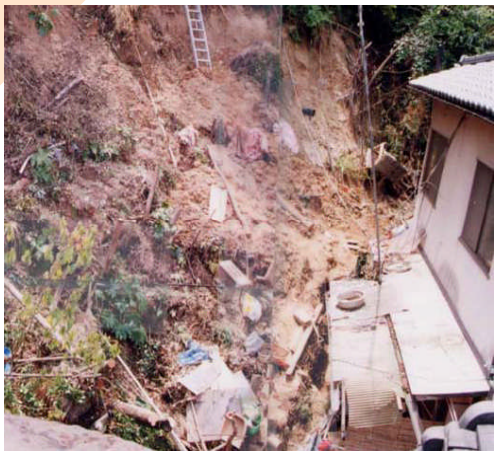
日本海中部地震（1983年5月26日）

秋田市や能代市などにおいて、湖を埋めた干拓地、河川周辺の平野部、沼や湿地を埋め立てた造成地などで大規模な**液状化**（→Ｐ.４参照）が発生し、多くの住宅に甚大な被害をもたらしました。

液状化による住宅の傾き

広島豪雨（1999年6月29日）

梅雨前線に伴う豪雨により、広島市・呉市を中心に**がけ崩れ・土石流**といった**土砂災害**（→P.１３参照）が多発し、斜面周辺の宅地に大きな被害を及ぼしたうえ、多数の犠牲者が出ました。



がけ崩れによる住宅被害
出典：土砂災害ひろしまポータルサイト
「6.29豪雨災害写真集　がけ崩れ災害編」

新潟県中越地震（2004年10月23日）

長岡市の団地などで、盛土した地盤全体が滑る**滑動崩落**（→P.１２参照）が発生し、宅地に大規模な被害が発生しました。

盛土の滑動崩落による宅地被害

― 災害からわが家の宅地を守るには ―

このような被害は、あらかじめ宅地の点検などを行って必要な対策をしておくことで、宅地への被害を防ぐことのできるものも多くあります。大切なわが家の宅地を守るために、皆様ご自身で点検を実施しましょう。